

No.14 中堅社員向けオーナーシップ研修

～当事者意識をもって、周囲に働きかける存在になる

対象者

- ・ 中堅社員として一段視座を高めたい方
- ・ 中堅社員としてプラスαの動きをすることを期待されている方

よくあるお悩み・ニーズ

- ・ 自分の仕事以外の課題にどこまで関与していいかわからない
- ・ 職場環境の変化が少ないためモチベーションを保ちづらく、成長が鈍っていると感じる
- ・ 中堅社員として自発的に組織に貢献する姿勢を学び、そのためのスキルを身につけて欲しい

研修内容・特徴

中堅社員として自身の担当する仕事だけではなく、チーム全体の仕事や課題にも「当事者意識」を持って関わっていくマインドを養成し、そのために必要なコミュニケーションスキルを習得する研修です。具体的には、上司や先輩との積極的な関わり方や後輩への接し方を改めて考えていただき、多方面に影響を与える存在になることを意識していただきます。また、その具体的なスキルとして、周知力、調整力、関与力について学び、ケーススタディを通じてどのようにそれらの力を発揮するかを考えていただきます。

<ワークのポイント>

- ①組織、上司、同僚、後輩、お客さま、など、様々な視点から期待される役割を確認する
- ②日頃の行動や考え方のチェックシートから、仕事における当事者意識を振り返る
- ③多様な後輩への接し方を話し合い、先輩としての指導・支援を考える
- ④自身が中核となり、どのように周囲のメンバーを巻き込んでいくかを考え、話し合う

到達目標

- ①中堅社員が組織から求められている役割を認識する
- ②自身のオーナーシップ度を振り返り、オーナーシップがある人の行動例を通じて当事者意識を培う
- ③上司・先輩と信頼関係を構築し、補佐する方法を身につける
- ④部下・後輩の指導・支援の仕方を身につける
- ⑤チーム全体の仕事や課題に積極的に関与し、成果をあげるための周知力・調整力・関与力を高める

研修プログラム

内容	手法
1. 組織が中堅社員に求めるものとは (1)立場を変えて考える中堅社員の役割 【ワーク①】それぞれの関係者から自分が期待されている役割を考える 【ワーク②】ワーク①で洗い出した期待されている役割および気づいたことを共有する (2)“居心地のいい”現状から一步踏み出す (3)求められる“プラスアルファ”の貢献力	講義 ワーク
2. 仕事に求められるオーナーシップ 【ワーク】質問に対して、普段の自分の傾向を回答する (1)オーナーシップとは何か (2)オーナーシップがある人の行動 【ワーク】冒頭のチェックシートの結果をもとに、自身のオーナーシップ度を振り返る (3)オーナーシップを発揮するための要件 (4)オーナーシップを育む組織風土 【ワーク】「オーナーシップを育む環境」という観点で考えた時、所属する組織は何点だと思うか。 また、その理由について記述する	講義 ワーク

内容	手法
3. 上司・先輩とのかかわり方 (1) フォロワーシップとは (2) よきフォロワーに求められる要件 (3) 上司を知り、信頼関係を構築する 【ワーク】 自分の上司・先輩が、それぞれがどのような判断軸を持っているのかを具体的に記述する	講義 ワーク
4. 後輩とのかかわり方 (1) 後輩指導を通してチームの中核人材となる (2) 昔も今も、後輩指導の基本は「率先垂範」 (3) 後輩の仕事に関心を持つ 【ワーク】 職場の後輩について、「主たる業務」「必要なスキルとその習得状況」「後輩が課題だと感じていること」をそれぞれ具体的に書き出す (4) アドバイスの仕方 ～ベクトルを揃え、期待水準を示す (5) 成長を促す関与の仕方	講義 ワーク
5. チーム内での役割 ～周囲を巻き込む中核になる (1) “自分事”の領域をチーム全体に広げる (2) 周知力 ～チームにおけるハブとなる 【ワーク】 チーム内での周知力をアップさせるための工夫やノウハウを、グループ内で共有する (3) 調整力 ～カギとなるインフォーマルコミュニケーション (4) 関与力 ～おせっかいと越権行為の奨励	講義 ワーク
6. まとめ 【ワーク】 研修を通じて気づいたこと、明日から実践しようと思ったことを整理する	ワーク

企画者コメント

インソースでは、オーナーシップを「担当する業務を『自分の仕事』として主体的に捉え、強い使命感と熱意をもってそれに取り組む姿勢」と定義しています。まさに「他人事」ではなく「自分事」として仕事を捉える真剣さがこの根底にあります。そして、主体的に仕事を捉え、行動するためには、その仕事は「何のために行われるのか」という目的意識が明確である必要があります。

当研修では、自身のオーナーシップ度を振り返り、具体的な行動例を参照することで、仕事を「自分事」として捉え、組織の中核として影響力を発揮するためのスキルを培っていただけます。

引用

研修実施会社 株式会社インソース

https://www.insource.co.jp/bup/bup_chuken_ownership.html